

～ LEXUS SHORT FILMS × Short Shorts Film Festival & Asia Presents ～

**「少数精鋭ワークショップ」意思を力にする2日間
大友監督と考える、あなたの世界戦略
様々な世界で活躍の3名の著名ゲスト決定！
若手次世代クリエイター特別参加枠を設定！**

特別参加枠対象ワークショップ開催日：10月14日(土)

会場：INTERSECT BY LEXUS - TOKYO

未来を担うクリエイターを発掘し、次代を切り開く若き才能への支援を行うLEXUS SHORT FILMSと米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA) は、昨年につき、世界を目指す若手映画監督の支援を目的に、世界で活躍中の映画監督によるワークショップを開催。今回は大友啓史監督を講師としてお招きし、10月14日(土)及び12月16日(土)の2回にわたり実施。

また、第1回ワークショップ(10月14日)においては、多数のテレビコマーシャル、ショートフィルムを手掛けるとともに、2017年に公開となった映画『東京喰種トーキョーグール』を制作した萩原健太郎監督。クリエイティブな活動を支援するクラウドファンディングサイト「Motion Gallery」を主宰している大高健志氏。Huluにおけるオリジナルコンテンツ発信事業を立ち上げ、プロデュースを行う町田有也氏の3名をお招きし、様々な世界で活躍するゲストから、戦う世界の多様化、戦い方について参加者が学ぶ機会を設けます。

8/31(木)にワークショップの参加応募を締め切りましたが、この度新たに、学生をはじめとする次世代クリエイターを対象に、より幅広い機会を提供することを目的として、第1回目(10月14日)の大友監督および著名ゲストによるレクチャーをご覧いただける特別参加枠を設定いたします。特別参加枠の参加者は、実際のワークショップには参加しませんが、世界で活躍する著名な監督、ゲストによるレクチャーをご覧いただく貴重な機会を得ることができます。応募期間は、9月27日(水)～10月3日(火)まで。

* LEXUS SHORT FILMSについて詳細は次頁を参照

【特別参加枠 募集概要】

- 会場 : INTERSECT BY LEXUS - TOKYO (東京都港区南青山4-21-26)
<https://lexus.jp/brand/intersect/tokyo/>
- 開催日時 : 10月14日(土) 15:00～17:15(予定)
※第1回ワークショップのうち一部を特別参加枠に設定。詳細は、下記「特別参加枠プログラム」をご参照ください。
- 講師 : 大友 啓史 (映画監督)
- ゲスト : 萩原 健太郎 (映画監督)
大高 健志 (Motion Gallery代表 / popcorn共同代表)
町田 有也 (HJホールディングス株式会社 プロデューサー)
- 参加費 : 無料
- 定員 : 10名 *応募者多数の場合は抽選
- 応募期間 : 9月27日(水)～10月3日(火)
- 応募方法 : <https://lexus.jp/brand/shortfilms/workshop2017/special/>よりお申し込みください。
- * 特別参加枠 参加者発表 : 参加が決定した方にのみ、上記申込期間終了後、申し込み時に記載のメールアドレスにご連絡させていただきます。
- 特別参加枠プログラム

【10月14日(土) ※第1回ワークショップ 特別参加枠】

- 大友監督から、「世界で戦うこと」についての講義 (15:00-15:50)
- 各分野において世界で活躍するゲストより講義 (16:00-17:15)

講師プロフィール



大友啓史 (映画監督)

1966年生まれ、岩手県盛岡市出身。慶應義塾大学卒。NHK入局後、97年からLAに留学。2年間、ハリウッドで脚本や演出を学ぶ。「ハゲタカ」「白洲次郎」「龍馬伝」などを演出し、イタリア賞始め国内外での受賞多数。NHK在籍時の2009年に映画『ハゲタカ』で映画監督デビュー。2011年4月NHK退局、株式会社大友啓史事務所を設立。ワーナーブラザーズと3本の監督契約を結ぶ。『るろうに剣心』(12年)、『ブラチナデータ』(13年)に続き、『るろうに剣心 京都大火編/伝説の最期編』(14年)が世界64か国2地域で上映、国内ではその年公開の邦画No.1ヒットを記録。昨年は『秘密 THE TOP SECRET』(8月公開)、『ミュージアム』(11月公開)、今年是将棋を題材にした青春映画『3月のライオン』二部作(3、4月公開)と話題作が立て続けに劇場公開された。

ゲストプロフィール



萩原健太郎 (映画監督)

1980年生まれ、東京都出身。2007年に Art Center College of Design(ロサンゼルス)映画学部卒業後、日本に帰国。THE DIRECTORES GUILD に参加し、ソフトバンク、TOYOTA、コココーラをはじめ多数のTV-CM、MV、ショートフィルムの演出を手がける。初長編脚本「Spectacled Tiger」が、米サンダンス映画祭にて優秀な脚本に送られるサンダンスNHK賞を日本人で初めて受賞。

2017年3月 NHK BS にて、プレミアムよるドラマ「嘘なんてひとつもないの」がオンエア。

2017年7月 初長編映画監督作品「東京喰種トーキョーグール」が公開。



大高健志 (Motion Gallery代表 / popcorn共同代表)

早稲田大学政治経済学部卒業後、外資系コンサルティングファームに入社、戦略コンサルタントとして、主に通信・メディア業界において、事業戦略立案、新規事業立ち上げ支援等のプロジェクトに携わる。その後、東京藝術大学大学院に進学し映画製作を学ぶ中で、クリエイティブと資金とのより良い関係性の構築の必要性を感じ、2011年に日本での先駆けとしてクラウドファンディングプラットフォーム『MotionGallery』(<https://motion-gallery.net/>)を立ち上げ。以来15億円を超えるプロジェクトの資金調達～実現をサポート。2017年には、だれでも映画館をつくることのできるマイクロシアタープラットフォーム『popcorn』(<https://popcorn.theater/>)をスタート。



町田有也 (HJホールディングス株式会社 プロデューサー)

日本テレビグループの動画配信サービス「Hulu フォールー」を運営するHJホールディングス株式会社に勤務。編成部やカスタマーマネジメント部を経て、オリジナル作品を制作するコンテンツ制作部でアニメーションを中心にプロデュース業務を担当。主な企画作品は神山健治監督作品『エンシェンと魔法のタブレット』、櫻木優平監督作品『ソウタイセカイ』、アカデミー賞にもノミネートされたトンコハウス作品『ダム・キーパー』を原作とした、エリック・オー監督作品『ピッグ 丘の上のダム・キーパー』など。前職はカルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社 (CCC) 本部で特撮・アニメーションジャンルのマーチャンダイザーや、販促企画を行う。また、TBSとCCC、2社の共同出資で設立されたTCエンタテインメント株式会社で、映像ソフトの企画・製作などに関わる。

LEXUS SHORT FILMSについて



SHORT FILMS

LEXUS SHORT FILMSは、ハリウッドのワインスタイン社の協力を得て、未来を担う新進気鋭のクリエイターを支援するプログラム。

詳しくはこちらから

<https://lexus.jp/brand/shortfilms/>

ショートショート フィルムフェスティバル & アジアについて



米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭。代表は俳優の別所哲也。1999年に東京・原宿で誕生し、これまでに 延べ38万人を動員しています。映画祭は、オフィシャルコンペティションをはじめ、様々なカテゴリーのプログラムで構成されており、グランプリ作品は、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考対象になります。SSFF & ASIA 2016グランプリ受賞作である『合唱』は、第89回米国アカデミー賞短編実写部門でオスカーを受賞致しました。世界に羽ばたく若きクリエイターをSSFF & ASIAは応援します。<http://www.shortshorts.org/>